

謝辞

このたびは10月3日、4日に和歌山市で開催いたしました第65回全国国保地域医療学会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、学会を盛会裡に終了することができましたことを心よりお礼申し上げます。

さて、本学会では、新たな取り組みとして、デジタル技術を活用した受付及び抄録集の閲覧により利便性の向上を図るとともに、コスト削減に努めたところでございます。

参加者は1000名を超え、研究発表は当初の想定を上回る260題となり、国保直診開設者サミット等においても、人口減少地域における医療等が直面する課題について、活発な議論がなされました。

また、地域医療交流会においても、約450名の参加をいただき、「生マグロの解体ショー」で大いに盛り上がり、親睦を深めていただきました。

今回の学会が、皆様にとって充実した2日間であったと感じていただければ幸いです。

最後に、皆様方には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げまして、感謝の意に代えさせていただきます。

第65回全国国保地域医療学会
学会長 高 垣 有 作

和歌山県国民健康保険団体連合会
理事長 中 芝 正 幸